

NO	開設科目名称	授業コード	クラス	科目概要	受講登録「自研究科開設科目での履修」	受講登録「他研究科受講制度での履修」	開講キャンパス	開講期間	曜日	時限 文系時限で表示	教室
1	知的所有権特論	80876	00	特許発明や著作物等に係る知的所有権に関する知識は、我が国の産業経済の活性化のため、大学・企業人にとって極めて重要な資産となっている。また、産・官・学連携により、大学で生まれる基本発明をもとにしたベンチャーの起業が期待されている。 研究開発の中から優れた発明を社会に実用化し活用が図られなければならない。 この講義では、実務上の事例をもとに知的所有権の基本的知識を習得する。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	月	3	C302
2	多変量解析Ⅰ	70399	S	SPSSやSASなどのデータ解析のアプリケーションは社会科学において、今後ますます盛んに利用されると思われる。しかし、これらのソフトを利用する場合でも、その前提となるデータ解析法の理解が基礎の理解が必須となる。本講では、統計的学習を中心としたデータ解析法の数理的な基礎について、演習形式も用いながら理解を深めていくことを目的とする。	社会学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	月	3	以IG201
3	統計解析演習Ⅰ	70776	L	この演習では、基本的な記述統計法を学んだ後、群間の平均値の比較を目的とした推測統計法を学ぶことが目的である。前者には、代表値、散布図、相関の指標、および、データの標準化などが含まれる。後者には、2群の平均値の検定をはじめ、様々な実験デザインに合わせた分散分析法が含まれる。記述統計法は、理科系だけでなく、文科系大学院にとって重要な方法論であり、また、推測統計法、その中でも、分散分析法は、特に実験系の心理学研究をはじめ、系統的に収集されたデータの平均値を群間で比較する際に必要となる。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	水	1	有YS201
4	統計解析演習Ⅱ	70777	L	この講義では、多変量解析のあり方を学ぶことが目的である。多変量解析とは、多変量のデータを分析するための統計法の総称である。ここで、多変量データとは、1つの個体から複数の変数を測定して得られるデータをさす。例えば、複数の項目や質問からなる性格テストや調査のアンケートなど多変量データの例である。多変量解析には様々な目的を持つ方法に分かれるが、目的を3種に大別すると、(1)空間配置表現(2)因果の分析(3)分類に分かれる。(1)は把握が難しい多変量データの構造を、空間的・視覚的に表現すること。(2)は変数どうしの原因・結果の関係を探ること。(3)は個体や変数をグループ化することといえる。こうした多変量解析の諸方法をできるだけ平易に紹介する。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	秋セメ	水	1	有YS201
5	情報処理特講	71739	RA	研究に必要な環境を整えることを目的に、立命館の研究資源を活用し、研究スキルを向上させることを目指す。具体的な内容は、学内外図書館・立命館の提供するオンラインデータベースによる研究資料のフル利用、パソコン基盤ソフトや統計処理ソフトの活用などである。論文作成・研究発表・実地調査研究等を含め、実習を交えて学ぶ。 その結果、大学院生としての研究環境を整え、図書館や立命館の提供するデータベースサービスを十分に利用する情報処理と統計分析スキルを向上させる。	国際関係研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	月	4	恒KS206
6	アカデミック・スキルズⅠ	70779	L1	この講義では、研究を行う上で必要な基本的能力の習得を目的とし、研究計画の立案から、予習・発表および論文執筆までに必要とされる研究能力を高めるための指導を行う。授業は、以下の内容で行う。1. 研究とは何か。2. 研究におけるライティング。3. 文献レビュー。4. データベースの使い方。5. プレゼンテーション。6. ライフサイエンス。7. 研究の発表。8. 研究の発表とプレゼンテーション。9. 論文執筆	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	火	3	有YS201
7	アカデミック・スキルズⅡ	70781	L1	この講義では、ウオッチング情報発信するための必要な知識・技能の習得を目指す。また、受講生が自らのホームページを完成し、実際に運営を行う能力を身につけることを目標とする。内容は以下の通りである。1. 個人HPをつくる前に知るべきこと。2. 各種情報の活用などの用法。3. ネット上の執筆。4. リソースのつくり方。5. 事例から学ぶ。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	秋セメ	木	5	有YS201
8	学芸員のためのデジタル技術	71213	L	急速に変化するデジタル環境の中で、学芸員の仕事にもデジタル技術の導入が必須となってきた。本講義では、学芸員が自らのデジタル技術を使いながら、研究や情報発信を効果的に進めるための手法の修得が目的である。今年度は、とくにデジタルカメラ等によってデジタル画像を作成し、それをいかに活用するかを学ぶ。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	秋セメ	火	6	尽JS001
9	博物館コミュニケーション論	71253	L	この講義では、博物館・美術館の伝統的なものや最新のものの歴史と現状について探索するとともに、博物館・美術館の現状を具体的に認識し、将来像を考える知識の獲得を目指す。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	月	4	敬KG216
10	特殊講義(外書講読・英語ディスカッション)	91347	MA	マネジメント・イン・ビジネスに関する英語講義。B2B Brand Management: The Success Dimensions of Business Brands* Philip Kotler, Waldemar Pfoertschを輪読し、英語書籍に記述の理論等によりプレゼンテーションおよびディスカッションを行う。B2Bにおけるマーケティングについて学び、B2Bにおけるマーケティングの理論や実践を議論する。英語書籍の担当を毎回割り当てて、各担当者が次回までに読み込みを行い、次回授業で発表を行う。	MOT	左記以外の研究科		秋セメ			
11	科学技術表現	80863	01	本講義では、科学技術表現の重要性を、個々の学生が自らの研究に関与し、研究についていかに発表すること、また他者の発表に対して議論を行うための力を身につけることを目的とする。具体的な内容は、実習を中心に行い、受講生がプロジェクトを用いてプレゼンテーションを行った後、他の受講生に対して教員との質疑応答を行う。プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上も目指す。 ※「科学技術表現」はクラスごとに専攻の教員にひきつづいた内容になります。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	水	3	F107
12	科学技術表現	80900	02	本講義では、科学技術表現の重要性を、個々の学生が自らの研究に関与し、研究についていかに発表すること、また他者の発表に対して議論を行うための力を身につけることを目的とする。具体的な内容は、実習を中心に行い、受講生がプロジェクトを用いてプレゼンテーションを行った後、他の受講生に対して教員との質疑応答を行う。プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上も目指す。 ※「科学技術表現」はクラスごとに専攻の教員にひきつづいた内容になります。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	水	6	F111
13	科学技術表現	80932	03	本講義では、科学技術表現の重要性を、個々の学生が自らの研究に関与し、研究についていかに発表すること、また他者の発表に対して議論を行うための力を身につけることを目的とする。具体的な内容は、実習を中心に行い、受講生がプロジェクトを用いてプレゼンテーションを行った後、他の受講生に対して教員との質疑応答を行う。プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上も目指す。 ※「科学技術表現」はクラスごとに専攻の教員にひきつづいた内容になります。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	火	3	F107
14	科学技術表現	80946	04	本講義では、科学技術表現の重要性を、個々の学生が自らの研究に関与し、研究についていかに発表すること、また他者の発表に対して議論を行うための力を身につけることを目的とする。具体的な内容は、実習を中心に行い、受講生がプロジェクトを用いてプレゼンテーションを行った後、他の受講生に対して教員との質疑応答を行う。プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上も目指す。 ※「科学技術表現」はクラスごとに専攻の教員にひきつづいた内容になります。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	月	4	F204
15	科学技術表現	80971	05	本講義では、科学技術表現の重要性を、個々の学生が自らの研究に関与し、研究についていかに発表すること、また他者の発表に対して議論を行うための力を身につけることを目的とする。具体的な内容は、実習を中心に行い、受講生がプロジェクトを用いてプレゼンテーションを行った後、他の受講生に対して教員との質疑応答を行う。プレゼンテーション能力とコミュニケーション能力の向上も目指す。 ※「科学技術表現」はクラスごとに専攻の教員にひきつづいた内容になります。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	水	3	A402
16	技術革新と高度産業社会	80861	00	本講義では日本産業界のInnovationとGlobalizationについて解説する。さらには若き研究者が近い将来、Globalに活躍するためのKnowledge, Informationにも着目し、今後産業界が抱える人材確保についても理解を深める。	理工学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	木	3	C302
17	科学技術表現	80631	A	本講義は、科学技術に関する知見や研究成果を他者に対して公表する際に必要となる表現技術、表現方法について解説し、発信するための基礎的知見を習得する。講義内容は、科学技術の研究成果を論文として公表する場合に必要となる表現形式と表現技術、および、口頭発表する場合に必要な表現技術と表現方法に関するものである。授業ではオンライン・プレゼンテーション、ビデオプレゼンテーション、系系アカデミックライティング、ポスター・プレゼンテーションの各手法を具体的な事例を用いて、自らの研究内容に活用するための実践を通して、各手法に習熟し、プレゼンテーション能力の改善と向上を目指す。授業は講義形式と演習形式で行い、プレゼンテーションのフィードバックと指導の両方を行う。	生命科学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	木	2	R310
18	産業・医療管理特論	80632	A	ライフサイエンスに関連する産業の研究開発や経営管理、あるいは病院での医療に役立てられる方をゲストスピーカーとしてお招きし、化学、環境、エネルギー、食品、製薬、医療に関する最先端研究、商品開発、経営戦略に関するトピックスをオンライン形式で講義していただく。社会の現状の状況についての理解を深め、自分自身の研究と社会がどのように繋がっているかを知り、将来のキャリアパス構築に役立てる。また、研究開発に対する意識の向上を図る。	生命科学研究科	左記以外の研究科	BKC	春セメ	金	3	F302
19	知的所有権概論	80633	A	発明、著作物等の知的財産は、人間の創造的活動の成果である。この知的財産は、財産的価値を有する情報であり、模倣できず以上に、多くの者が同時に利用できる。このため、創作者の権利を保護するために、知的財産権制度が整備されている。わが国では、「知的財産立国」の実現を目指し、「国家戦略」として様々な施策が進められている。産学官連携の推進等、知的財産を取り巻く環境の変化は目覚ましい。知的財産権制度の活用は、わが国経済の活性化だけでなく、企業や大学・研究機関において重要な役割を果たす。この科目では、創造的活動の成果である知的財産を経済活動において有効に活用していくために、知的財産権制度に関する基礎的な知識を習得する。	生命科学研究科	左記以外の研究科	BKC	秋セメ	火	5	F202
20	実践英語Ⅰ	72484	L1	この演習は、前期に引きつづき、大学院生として必要な読む力、聞く力、書く力、話す力を伸ばすことと、読解力の増強をねらいとする。授業を通して、英語で書かれた専門分野の文献を読む力、英語で論文を書く力、自分が専門とする領域について英語で議論する力の向上を目指す。 ・学術的な内容の英文を正確に読めるようになる。 ・英語で論文を作成できるようになる。 ・学術的な内容の英語を聞いて理解できるようになる。 ・自分が専門とする領域について、英語で口頭発表ができるようになる。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	水	3	敬KG001
21	実践英語Ⅱ	72486	L1	この演習は、前期に引きつづき、大学院生として必要な読む力、聞く力、書く力、話す力を伸ばすことと、読解力の増強をねらいとする。授業を通して、英語で書かれた専門分野の文献を読む力、英語で論文を書く力、自分が専門とする領域について英語で議論する力の向上を目指す。 ・学術的な内容の英文を正確に読めるようになる。 ・英語で論文を作成できるようになる。 ・学術的な内容の英語を聞いて理解できるようになる。 ・自分が専門とする領域について、英語で口頭発表ができるようになる。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	秋セメ	水	3	敬KG013
22	人文学の最前線	70734	LA	情報人文学は、人文科学とコンピュータ科学との関わりを、ユーザの広がりやネットを介した情報交流など、現在の情報通信環境に照した新しいものとして整理・再構築しなおそうとする学問であり、それら専門知識の各体系を有効に活かしながら、専門知識の統合的な研究活動を進展させている。また、デジタル・コンテンツに関する産業化や知的財産法などについても着目する。最新の事例を紹介しながら、文化情報学をめぐる動向の概要を講義する。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	春セメ	水	3	中国文学・思想
23	人文学の最前線	70735	LB	情報人文学は、人文科学とコンピュータ科学との関わりを、ユーザの広がりやネットを介した情報交流など、現在の情報通信環境に照した新しいものとして整理・再構築しなおそうとする学問であり、それら専門知識の各体系を有効に活かしながら、専門知識の統合的な研究活動を進展させている。また、デジタル・コンテンツに関する産業化や知的財産法などについても着目する。最新の事例を紹介しながら、文化情報学をめぐる動向の概要を講義する。	文学研究科	左記以外の研究科	衣笠	秋セメ	水	3	中国文学・思想